

# まちひとしごと

Vol. 38

北海道倶知安高等学校

教諭 田村 幸人 さん



## 選手たちの成長を支え スキーマの町に貢献したい

1 月、名寄市で開催された北海道高等学校スキー競技選手権大会（以下、北海道大会）に倶知安高校スキー部が出場。クロスカントリースキーのリレー競技では、1年生のみで構成されたチームでありながら、見事優勝を果たす。そのチームを指導するのが、同校教諭の田村幸人さんだ。

「北海道大会には全国レベルの強豪校も出場しており、厳しいレースとなりましたが、選手たちの『絶対にあきらめない』強い気持ちと、地道な努力の積み重ねが、この結果につながったと思います」

美幌町で生まれ育ち、小学1年生から始めたクロスカントリースキーに熱中した田村さん。高校生のときは全国大会に出場し、優秀な成績を収めた。学校生活や競技を通じて、多くの先生方にお世話になる中で、高校時代の顧問から受けた影響が大きく、自身も同じ道を目指す。

かつてスキーの強豪校と言われた倶知安高校には、平成30年4月に赴任。しかし、当時の同校スキー部は部員が集まらず、クロスカントリースキー競技の活動を休止していた。

「最初の一年間は、町内の小学生が参加するクロスカントリースキー少年団の活動に携わり、地域でスキーを通じた人の輪を広げることができました」

そして翌年、田村さんの指導を受けるため、町内外から5名が倶知安高校スキー部に入学し、活動が始まった。

「全国大会への出場を決め、たくさんの方から激励の言葉をいただきました。彼らの活動はまだ始まったばかりですが、倶知安高校に受け継がれた伝統を誇りに、日々努力を重ねる彼らを支えていきたいと考えています」

現在も、少年団との合同練習などを通じて地域と深く関わる中で、子どもたちの活動を支える地元の人々の存在の大きさから、スキー文化の定着を実感しており、今後は倶知安高校スキー部としてその一端を担っていききたいと話します。

「この町でスキーとともに育った子どもたちには、高校生になっても地元で競技を続けてもらいたいです。倶知安高校スキー部が、小中学生の進学先として選ばれるよう、大会で結果を残すことももちろん、選手が一人の人間としても成長できる場所となることを目指しています」

倶知安高校スキー部の選手たちは、チーム内で切磋琢磨することでさらに実力をつけ、全国そして世界へと羽ばたいていくだろう。今後の活躍からますます目が離せない。

※まちひとしごとは不定期連載です

※倶知安高校スキー部の全国大会結果は16ページに掲載しています